

おかげさまでアドソル日進は、
東証第一部に
上場いたしました。

IoTで未来を拓く
総合エンジニアリング企業へ。

2017年3月期中間(事業)のご報告

2016.4.1 ~ 2016.9.30

 **アドソル日進**

証券コード: 3837

IoTで未来を拓くアドソル日進

アドソル日進は、IoTシステムの全領域を事業領域とするとともに、
セキュリティ・ソリューションをワンストップで提供。
次世代社会システムへの移行・更新に、「安心」「安全」「快適」「環境」をキーワードに
豊かな社会への発展に貢献してまいります。

豊かな社会の発展に向けて



もっと楽しいカーライフへ。

ドライバーとクルマ、道路をつなぐ



渋滞緩和やエコドライブ、安全走行のサポートに貢献する情報システムづくりプロジェクトに参入しています。

もっとすこやかな暮らしへ。

患者さんと医師、病院をつなぐ



各種医療機器や、地域医療ネットワーク、家庭での介護・見守りまで、健康を支える情報システムづくりに参入しています。

もっと災害に強い街へ。

住民と地域、防災システムをつなぐ



河川、ダムなどの監視や位置情報を活用した総合防災システムづくりに貢献しています。

もっと便利な空の旅へ。

飛行機と空港、人と世界をつなぐ



ますます航空機を利用した移動が増加する中で、航空機の安全な運航を見守っています。

もっと自由なエネルギー市場へ。

家庭と電力会社、ガス会社をつなぐ



2016年4月からスタートした電力小売自由化。スマートメータ、データ通信、料金計算までをワンストップ対応。2017年4月に予定されているガス小売自由化にも取り組んでいます。

もっとスマートなショッピングへ。

人とお店、人とお金をつなぐ



テレビ、インターネットなどの通販でのお支払い、クレジットカード、振込、コンビニ支払い、代引など、利用者のニーズに最適な決済サービスを提供しています。



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2017年3月期の中間期における業績および取り組みにつきましてご報告申し上げます。

業績面では、社会システム事業を中心に業績をけん引し、売上高57億円・営業利益4.4億円の、中間期としては過去最高の業績となり、増収・営業増益を達成することができました。

取り組み面では、「セキュリティ」の各施策を重点的に行いました。また、9月には東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。

今後とも、皆様方のご期待にお応えし、一層の企業価値向上を図ってまいります。

引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年12月

代表取締役社長

上田 三

Q 東京証券取引所市場第一部への市場変更を果たされてのお考えをお聞かせください。

A **Point**

- 信用力向上に伴う受注拡大
- 中長期的な株価上昇に向けた体制づくり

当社の株式は、2016年9月16日に、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。

本年2月の東証二部への市場変更、今回の東証一部銘柄への指定は、特にお客様に喜んでいただきました。

今後も、安心して任せいただける企業としての進化と、社会的信用力の一層の強化を図ってまいります。

株式市場に対しては、より多くの皆様に、当社を知っていただくことで、企業価値の向上を目指してまいります。

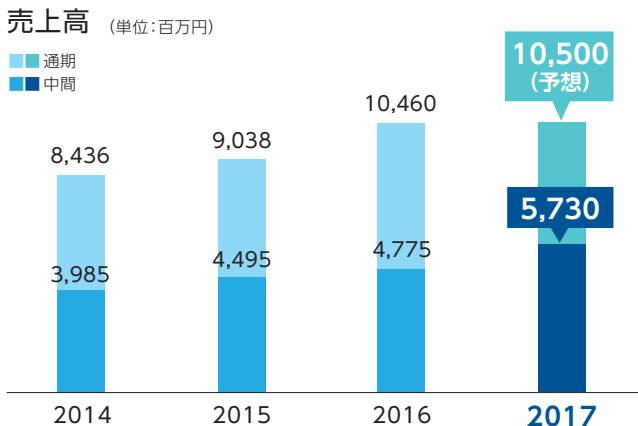


Q 当中間期の業績の概要についてお聞かせください。

- A** **Point**
- 売上高・営業利益ともに過去最高を達成
 - 期初に発表した中間期業績見通しを上方修正して着地

当中間期は、企業のICT投資意欲は高く推移し、受注も好調に推移したことから、増収・増益を達成することができました。

事業別では、主力の社会システム事業における電力・ガスのエネルギー関連が継続して業績をけん引し、また、IoTシステム事業の自動車関連や複合機関連などが堅調に推移しました。



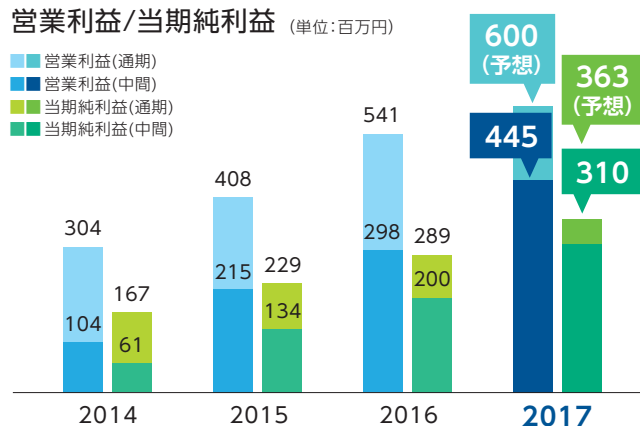
Q 「セキュリティ」への取り組みについてお聞かせください。

- A** **Point**
- 協業体制の確立
 - セキュリティのワンストップ・サービスを提供

米国の革新的なセキュリティ・ソリューション:Lynx SECURE (リンクスセキュア)のビジネス展開を強化するため、ミツイワ社、ウェブルート社と提携しサービス体制およびメニューの拡充を図るとともに、各社と連携した顧客提案活動を推進しました。

また、大手企業に、セキュリティ・コンサルティング・サービスの提供を開始しました。

今後も、幅広いセキュリティ領域をワンストップでお客様に提供してまいります。



Q グローバル開発体制についてお聞かせください。

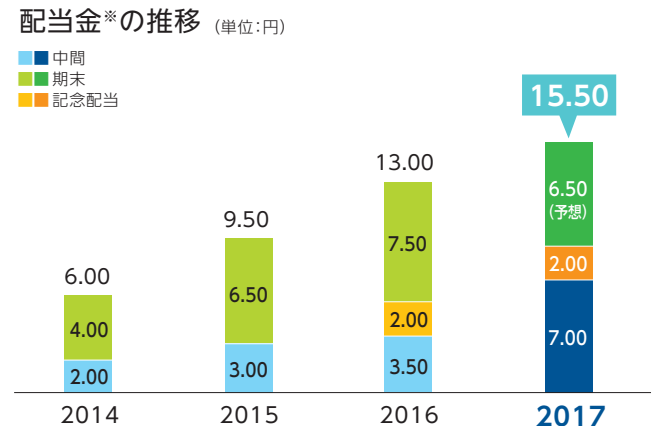
- A** **Point**
- 長年のグローバル開発実績
 - 中国・ベトナムでの開発体制

当社は2004年より、中国でのオフショア開発を開始し、以来、高品質で低コストを実現する開発体制を運営し、お客様から高い評価をいただいております。

これにより、近年、お客様からは、海外オフショア開発を活用した案件を多数ご依頼いただくようになりましたが、開発委託国の拡充が課題として挙がっていました。

そこで、ベトナムの2社と新たに業務提携をし、ベトナムでのオフショア開発体制の拡充を図りました。

今後も、積極的なグローバル開発体制の拡充を図ってまいります。



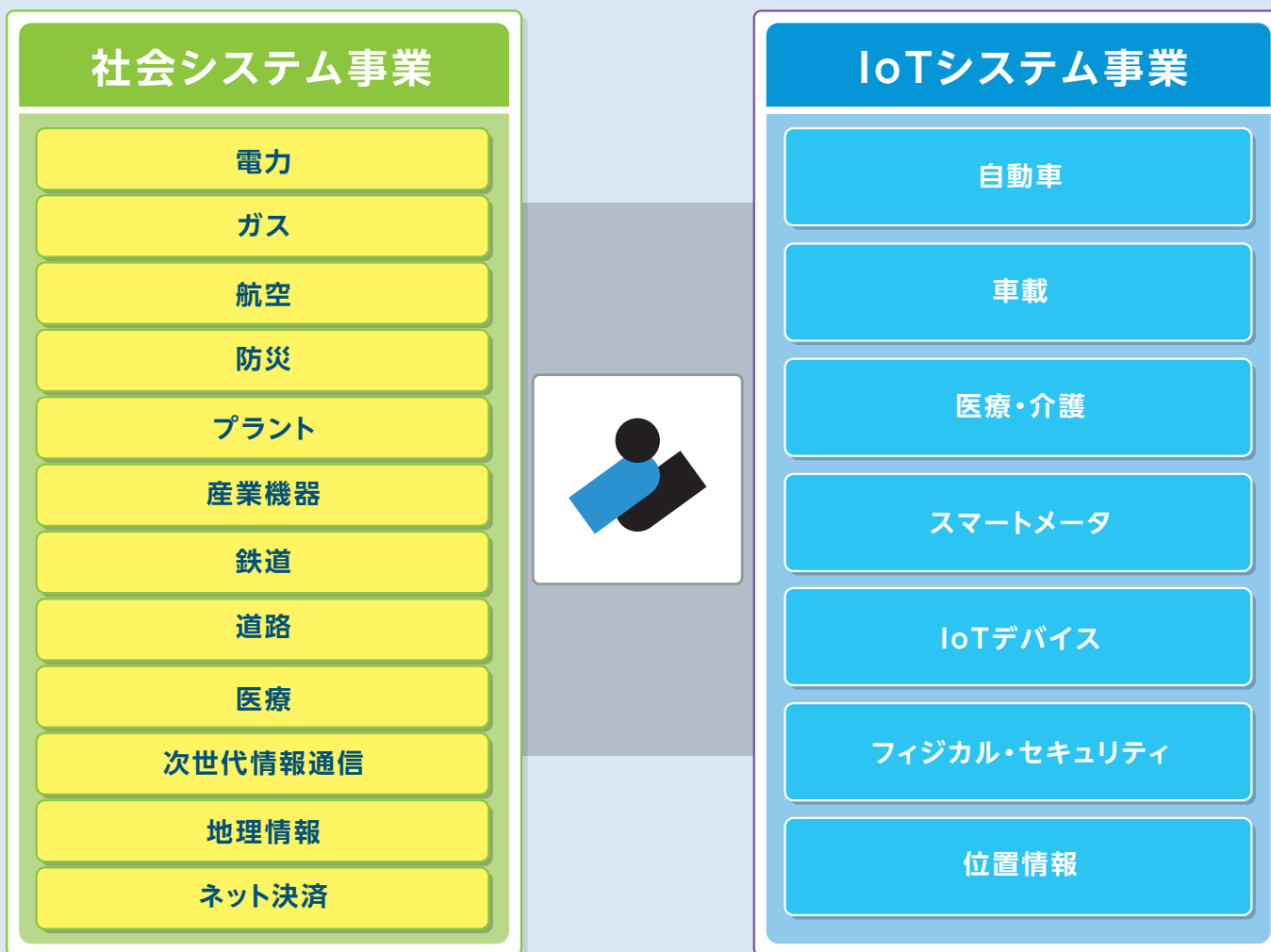
*2016年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、2014年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。4

Vision

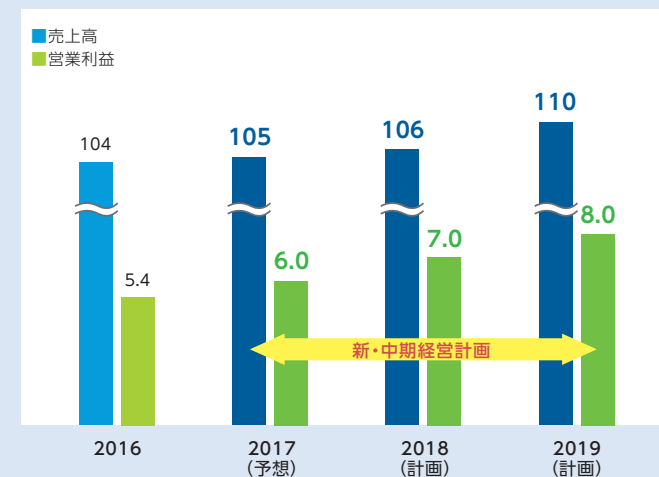
IoTで未来を拓く総合エンジニアリング企業

2016年4月より**新・中期経営計画 (Vision2020)** がスタート!

IoTを活用した次世代社会システムで次なる成長



新・中期経営計画業績目標 (単位: 億円)



2019年3月期業績目標

売上高	110 億円
営業利益	8 億円
ROE	14 %以上
配当性向	33 %以上

IoT・セキュリティのトップランナーを目指して

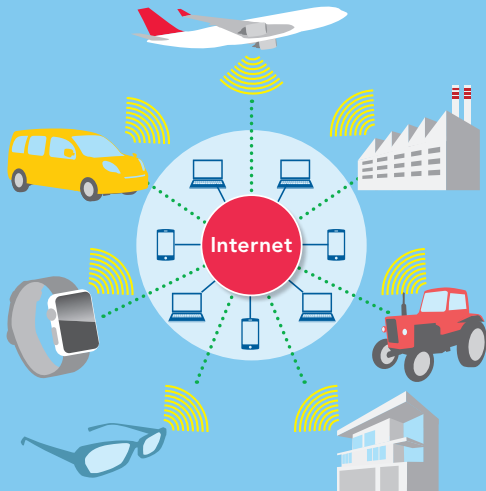
IoT時代のセキュリティ

情報セキュリティ・ガバナンス

ネットワーク・セキュリティ

IoT デバイスセキュリティ

特許! フィジカル・セキュリティ
(電界通信)



IoT時代の セキュリティ・フォーラム2016

ここまで進んでいる! IoTセキュリティ最前線

- 主催 日本経済新聞社 クロスメディア営業局
- 特別協賛 アドソル日進株式会社
- 協賛 Lynx Software Technologies, Inc.
- 開催日時 2016年10月21日(金) 13:30~17:30 (開場13:00)
- 開催場所 イノホール (東京都千代田区内幸町2-1-1)

「IoT時代のセキュリティ・フォーラム」を日本経済新聞社とのタイアップにて開催。IoTセキュリティの先進的な取り組みをご紹介します。



参加企業・団体

IVI※・法政大学

※インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ

デンソー・インターナショナル・アメリカ社

米国Webroot社

日本ヒューレット・パッカード社

アドソル日進サンノゼR&Dセンタ

米国Lynx社



アドソル日進



LynxSECURE ウィルス感染の危険性を除去・無害化!

セキュア・ボグ **業界初!**

2016年11月1日 販売開始

業務効率を低下させることなく、外部から侵入するウイルスを無害化し、社内でネットワークへの伝播を遮断する新たなソリューション「セキュア・ボグ」の販売を開始しました。

特長

業界初!ウイルスを無害化する鉄壁ソリューション

- ウイルスの伝播を防ぐ
- PC1台から導入可能
- 未知のウイルスに対応
- 米国の先進セキュリティ・ソリューション LynxSECUREを活用

新型ウイルスに対応!

メールや外部ファイルを無害化する鉄壁システム。



完全無害化!

安心	安全	不要
安心して、添付ファイルをオープンできる	安全なファイル・データを社内共有できる	システムのアップデートは不要

セグメント情報 [2017年3月期 (中間)]

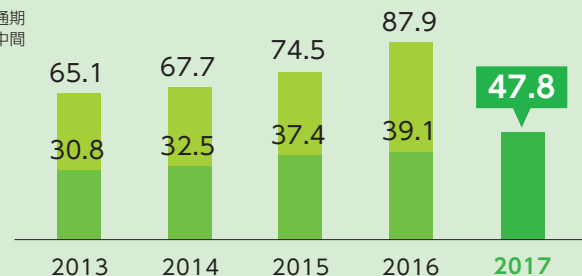
社会システム事業

売上高

47.8 億円

前期比
22.2%UP 

(単位:億円)
■ 通期
■ 中間



ビジネス分野では、電力の自由化関連が継続し、ガス関連は自由化関連案件等が拡大しました。
通信分野では、エネルギー関連の対応に注力しました。
制御分野では、航空関連、プラント関連、道路関連が堅調に推移しましたが、前期のスマートメータ関連案件が保守に入りました。
ファイナンス分野では、信販向けクレジット・カード関連が拡大しましたが、営業店関連が減少しました。
その結果、当第2四半期累計期間の売上高は、47.8億円と前年同期比22.2%の増収となりました。

社会システム事業
売上高構成比

83.4%

総売上高

57.3 億円

IoTシステム事業
売上高構成比

16.6%

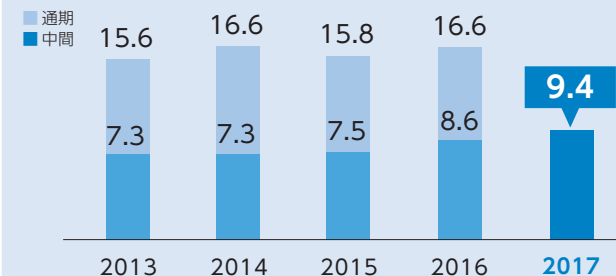
IoTシステム事業

売上高

9.4 億円

前期比
10.0%UP 

(単位:億円)
■ 通期
■ 中間



組込み分野では、自動車における次世代システム関連、複合機関連やメディカル関連が堅調に推移しました。
スマート・ソリューション分野では、製品販売は減少しましたが、スマートメータ通信案件や、当社独自の無線通信技術を活かしたウェアラブル関連案件を獲得する等の提案活動を推進した他、OS販売が堅調に推移しました。
その結果、当第2四半期累計期間の売上高は、9.4億円と前年同期比10.0%の増収となりました。

セグメント区分の変更について

当社は、2016年5月に策定した新・中期経営計画の重点施策を鑑み、当期より、下記の通りセグメント区分を変更しております。
尚、各セグメントにおける前年同期比は、前年第2四半期の数値をセグメント変更後の数値に組替えた上で比較を行っております。

2016年3月期まで

社会システム事業 (ビジネス、通信、制御)

金融システム事業 (金融)

ユビキタス事業 (組込み、ユビキタス)

2017年3月期以降

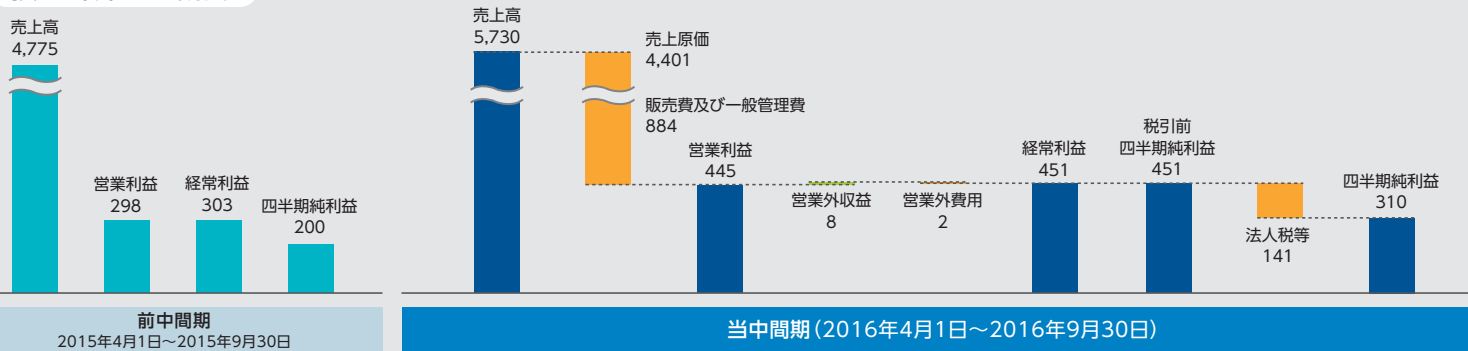
社会システム事業
(ビジネス、通信、制御、ファイナンス)

IoTシステム事業 (組込み、スマート・ソリューション)

財務諸表 [2017年3月期(中間)]

損益計算書の概要

(単位:百万円)



Check Point

損益計算書のポイント

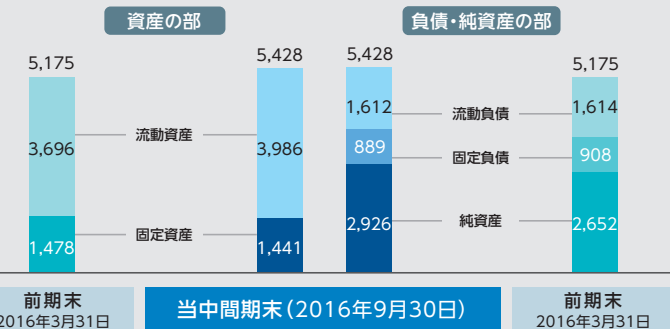
営業利益は、社会システム事業における電力自由化関連を中心とした案件の選択と集中による収益性の改善と、売上高の増加に伴う増収により、445百万円と、前年同期比49.0%の増益となりました。

貸借対照表のポイント

資産の部では、流動資産が増加、固定資産は減少し、資産合計は5,428百万円となりました。負債・純資産の部では、負債合計は流動負債、固定負債が減少したことから、2,502百万円となりました。純資産は、資本金、利益剰余金が増加したことなどにより、2,926百万円となりました。

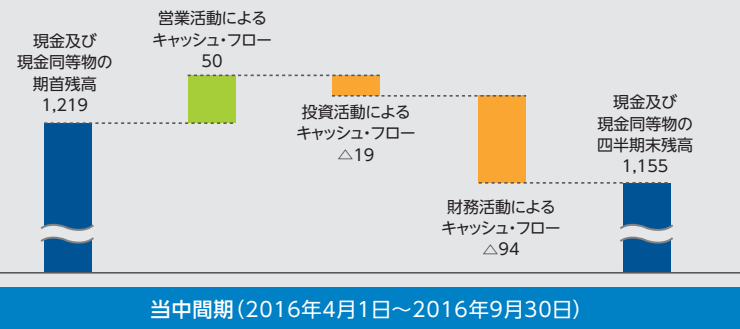
貸借対照表の概要

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

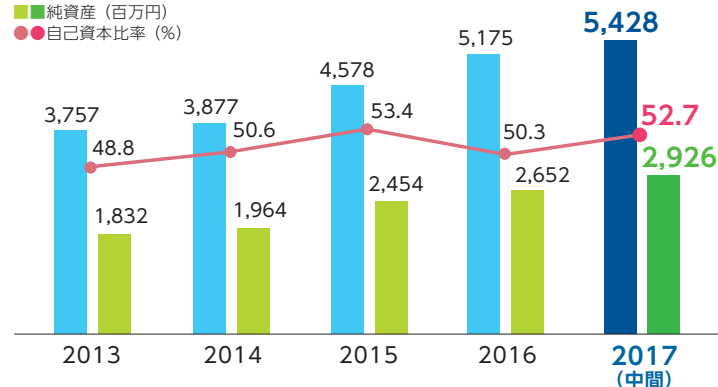


キャッシュ・フロー計算書のポイント

現金及び現金同等物の中間期末残高は224百万円増加し、1,155百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは50百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは19百万円の支出となったことから、フリー・キャッシュ・フローは、31百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは94百万円の支出となりました。

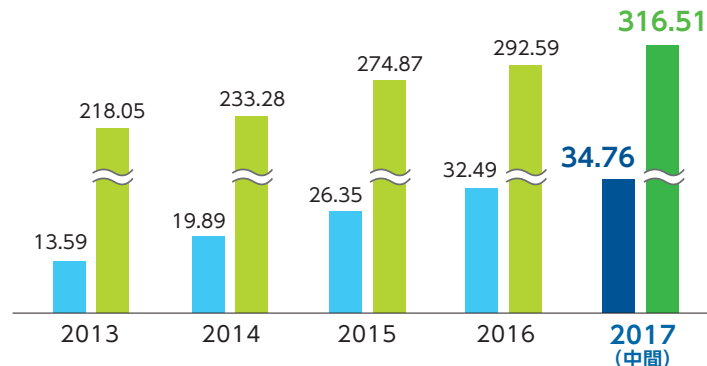
総資産/純資産/自己資本比率

■ 総資産 (百万円)
■ 純資産 (百万円)
● 自己資本比率 (%)



1株当たり当期純利益*/1株当たり純資産*

■ 1株当たり当期純利益 (円)
■ 1株当たり純資産 (円)



*2016年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、2013年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

通期業績予想 (2017年3月期)

売上高	105 億円	前期比 0.4%増
営業利益	6 億円	前期比 10.7%増
経常利益	6 億円	前期比 10.0%増
当期純利益	3 億円	前期比 25.5%増

TOPICS ① 東京証券取引所市場第一部指定

2016年9月16日、当社株式は、東京証券取引所市場第二部から、同市場第一部銘柄に指定承認されました。当日は、東京都中央区日本橋兜町の株式会社日本証券取引所において、当社役員・社員が出席し、東証第一部銘柄への指定セレモニーが執り行われました。



TOPICS ② 株式分割の実施

株式分割に伴う優待制度の変更

当社株式の取引価格を引き下げることにより、当社株式の流動性向上と投資家層の拡大を図ることを目的として、2016年9月30日付の株主様が保有されている株式を対象に、2016年10月1日付で、普通株式1株を2株に分割いたしました。

株式分割の概要

分割比率 **1 対 2**

分割基準日
2016年9月30日(金)

効力発生日
2016年10月1日(土)

分割による株式数の変化

(例) 分割前にアドソル日進株を100株保有している場合(株価:2,000円)

	保有株式数	保有株式の総額	1株当たりの価格	1単元(100株)当たりの価格
分割前	100株	20万円	2,000円	20万円
分割後	200株	20万円	1,000円	10万円

Point 1

保有株式数

保有している
**株式数が
2倍に!**

Point 2

保有株式の総額

保有している
アドソル日進株の
**資産価値は
変わらない!**

Point 3

1株当たりの価格

新聞などの
**表示株価が
2分の1に!**

Point 4

1単元(100株)当たりの価格

**取引価格
が分割前の
2分の1に!**

TOPICS ③ 記念配当について

当社の株式は、2016年9月16日、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、東京証券取引所市場第一部銘柄への指定を記念し、2017年3月期の中間配当において1株当たり4円の記念配当を実施させていただくことといたしました。これにより、中間配当金は、普通配当14円と合わせて、18円となります。

※ 2016年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。株式分割実施を考慮しない場合は、13.00円となり前回予想(2016年5月10日発表)からの実質的な変更はありません。

中間(株式分割前の実績)	期末(株式分割後の予想*)
普通配当 14.00円	普通配当 6.50円
記念配当 4.00円	
合計 18.00円	合計 6.50円

株主優待制度のご案内

今回の株式分割に伴い、株主優待基準を一部変更いたします。

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しています。

優待内容

200株以上4,000株未満

「緑の募金」付き
クオカード (500円相当)



200株以上1,000株未満 500円相当
1,000株以上2,000株未満 1,000円相当
2,000株以上4,000株未満 1,500円相当

保有期間特典

保有継続期間1年以上で、クオカード1枚(年間2枚)を追加贈呈

※保有継続期間は、毎年9月30日および3月31日を基準日として、同一株主番号で1年以上継続して保有されている期間。(同一株主名簿に連続3回以上記録)

※このクオカードには、社会貢献寄付金として「緑の募金」が付いており、公益社団法人国土緑化推進機構へ寄付されます。集められた寄付金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりに活用されています。

対象株主

毎年9月30日、3月31日の株主様(年2回)

時期

200株以上4,000株未満: 12月、6月に優待品を発送予定
4,000株以上 : 11月、5月にカタログを発送予定

※当中間期は従来の株主優待制度の基準に沿って贈呈いたします。

4,000株以上

「緑の募金」付きクオカード又は「紀州梅ギフト」から選べる
株主優待カタログ(3,000円相当の商品から1品)を贈呈



「緑の募金」付きクオカード
3,000円相当



商品の発送

お申込はがきが到着した日から2週間程度でお届けします。
最終申込期限までに、商品のお申込がない場合は、クオカードをお届けします。
※写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

ホームページのご案内

当社ホームページ(<http://www.adniss.jp/>)でも、配当や株主優待の情報を逐次提供しております。
また、財務・業績情報、IRライブラリーなどの内容も充実しておりますので、是非ご覧ください。

トップページ



株主・投資家情報

LynxSECURE



会社概要 (2016年9月30日現在)

会社名	アドソル日進株式会社
英文社名	Ad-Sol Nissin Corporation
所在地	東京都港区港南四丁目1番8号
設立	1976年3月13日
代表取締役社長	上田 富三
資本金	5億1,925万円
事業内容	独立系のICT企業として、社会インフラ・システムを中核にIoTシステムの開発、およびセキュリティ・ソリューションの提供
社員数	502名
拠点	東京本社 <支社>関西、九州 <開発センタ>仙台 <米国子会社>米国サンノゼR&Dセンタ

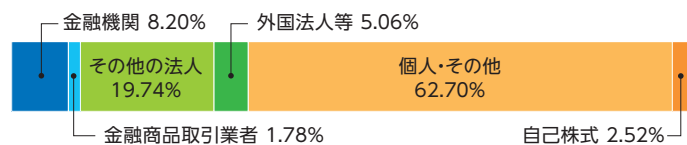
株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	14,400,000 株
発行済株式の総数	4,632,930 株
株主総数	3,639 名
大株主	

氏名又は名称	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社インテック	585,000	12.95
アドソル日進従業員持株会	555,000	12.28
高原慶一郎	270,000	5.97
日本プロセス株式会社	247,000	5.46
株式会社みずほ銀行	186,000	4.11
株式会社三菱東京UFJ銀行	138,000	3.05
DEUTSCHE BANK AG LONDON 610	80,300	1.77
今藤一行	75,000	1.66
海瀬希予史	75,000	1.66
三菱電機コントロールソフトウェア株式会社	66,000	1.46
計	2,277,300	50.43

持株比率は自己株式(116,778株)を控除して計算しております。
 又、自己株式は上記大株主から除外しております。

所有者別株式分布状況 (2016年9月30日現在)

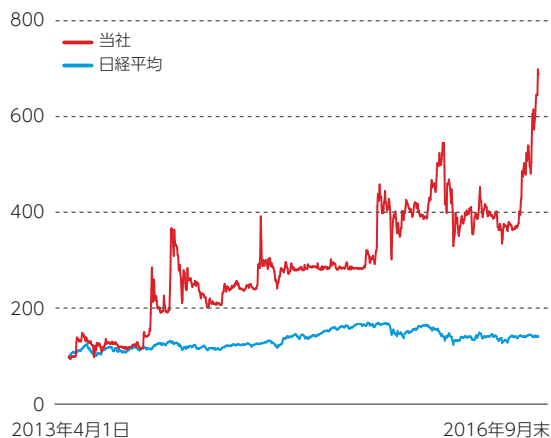


役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役社長	上田 富三
常務取締役	田井 史徳
取締役	田中 耕一
取締役	後関 和浩
取締役	篠崎 俊明
社外取締役	星野 将
社外取締役	峰野 博史
常勤監査役	三重野 裕彦
社外監査役	能口 誠一
社外監査役	山形 宗紀

株価の推移 (2013年4月1日～2016年9月末)

2013年4月1日を起点とした当社と日経平均の株価の推移を示したグラフです。2013年4月1日の株価を100として、その後どのように変動したかを示しています。



株主メモ

証券コード	3837
金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 (http://www.adniss.jp/) ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

配当金のお受け取りについて

配当金領収証による配当金のお受け取り期間は2017年1月6日までとなっております。
 □座振込をご指定されていない株主様は、同封の期末配当金領収証をご持参のうえ、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)にてお早めにお受け取り願います。

お受け取り期間が過ぎたら・・・

お受け取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行、郵便局でのお受け取りはできません。
 配当金領収証の表面のお届出印欄にご押印のうえ、みずほ信託銀行、みずほ証券、みずほ銀行の各本店および全国各支店にお持ちください。
 ※みずほ証券は、取次のみとなります。

配当金領収証を紛失されたら・・・

みずほ信託銀行証券代行部までご連絡ください。その際には、お支払の手続きに時間を要しますので予めご了承ください。

銀行振込等のご指定をおすすめします

配当金領収証による配当金のお受け取りは、お忘れになることもありますので、安心・確実な銀行振込等によるお受け取りをおすすめ致します。

アドソル日進株式会社

〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号 リバーージュ品川
 TEL: (03) 5796-3131 (代)

